

令和 8 年度第 1 回 摂津市がん検診運営委員会 要点録

日 時 令和 8 年 9 月 1 日 (火)
場 所 摂津市役所本庁 301 会議室
出席者 委員 4 名 (1 名欠席)
傍聴人 0 名

議題1 答申

議題2 胃内視鏡検診の制度設計案について

1. 答申

(1) 摂津市胃がん検診への胃内視鏡検診の導入について

・令和 6 年 10 月 11 日付け摂保健第 241 号で諮問のあった標記の件について、本委員会
で慎重に審議した結果、審議結果一覧の内容とすることが妥当であると決定した、市長宛へ
答申した。

2. 胃内視鏡検診の制度設計案について

「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル2024」に記載のない項目についてご意見伺
いたい。

(1) 対象者

下記を対象者除外とすべきか。

- ・検査に使用する各薬剤にアレルギーのある人
- ・鎮痛薬・鎮静剤を使用した検査を希望される人
- ・血圧が極めて高い人

ご意見

- ・前処置・咽頭鼻腔麻酔で使用する薬剤を踏まえ、問診にてアレルギー確認を行う。検査に
使用する各薬剤へのアレルギーのある人は対象外として記載する。
- ・鎮痛薬・鎮静薬の使用を希望する人は対象外として記載する。
- ・血圧が極めて高い人は対象外とし、服薬の有無に関わらず、収縮期血圧 180mmHg 以
上を1つの目安とし、固定的な安全基準と誤解されない表現の記載とする。

〈回答〉ご意見を踏まえて検討する。

(2) 問診

- ・義歯の確認や血圧測定等は必須か。
- ・その他にご意見あるか。

ご意見

- ・検査時の血圧測定は必須とする。
- ・経口での検査もあるため、義歯の有無も問診票に記載する。
- ・データを集めるという意味ならば、胃がんの血縁歴だけでいいのか。
- ・妊娠の可能性等に関する項目は問診票に記載する。
- ・喫煙・飲酒は食道観察上の留意にも関係するため問診票に記載する。
- ・発熱のある人については 37.5℃以上は対象外として、対象者除外項目の「明らかな自

覚症状がある人は健診対象外」に補足として記載する。

〈回答〉ご意見を踏まえて検討する。

(3) 撮影方法

・撮影コマ数の適当枚数について。

ご意見

・30～40 コマを目安とする。部位・角度ごとの撮影を分かりやすくするため、2017 年マニュアルを参考に図示資料を作成する。

〈回答〉ご意見を踏まえて検討する。

(4) 検査前の注意事項

下記以外に注意事項はあるか。

- ・前日の午後 9 時（検査開始前予定時刻の 12 時間前）以降の食事は摂らない
- ・飲水は検査直前まで可能。飲水は「水」のみとし、その他の飲み物は不可。
- ・当日朝に内服が必要な薬（降圧剤など）は、検査開始予定時刻の 3 時間前までに内服。
- ・当日の喫煙は避ける。

ご意見

・受診者向け案内の飲水は、水の記載のみならず、「無色透明」等、誤解のない表現を検討する。

・前日の夕食は軽めとし、午後 9 時以降は食事を取らない旨を記載する。

〈回答〉ご意見を踏まえて検討する。

(5) 前処置・咽頭鼻腔麻酔の薬剤

下記以外によく使用する薬剤はあるか。

- ・消泡薬：ジメチコンシロップ 40～80 mg
- ・粘液除去薬：プロナーゼ2万単位
- ・咽頭・鼻腔麻酔：2%キシロカインビスカス、8%キシロカインスプレー

ご意見

・プリビナを使用する場合も含める。

〈回答〉ご意見を踏まえて検討する。

(6) 色素散布・画像強調観察

下記以外の方法はあるか。

- ・色素散布：0.4%インジゴカルミン
- ・ヨード染色
- ・画像強調観察：狭帯域光観察（MBI,BLI）や LCI

ご意見

・想定のとおりでよい。

(7) 集団バス検診による実施検討

・実施体制についての留意事項について。

ご意見
・保健センターや公民館等への出張実施では、受診後の体調不良者の休憩・対応場所、医療機関としての対応等が懸念される。 ・病院敷地内等での実施であれば、敷地内医療機関での偶発症対応が可能ではないか。 バス検診の導入は、まず既存の医療機関による実施状況を踏まえつつ慎重に検討する必要がある。

〈回答〉ご意見を踏まえて検討する。

(8) その他

ご意見
・ピロリ除菌後であっても医療機関で経過観察中でない者は、除菌後年数にかかわらず検診対象とできる旨を、分かりやすく記載する。

〈回答〉ご意見を踏まえて検討する。